

子ども・子育て支援等に係る地域活動の推進

山本 麻由美

◎地域での子ども・子育て支援

	学校	PTA	幼稚園	保育園
警察 町会	児童館	子供会	キッズプラザ	すこやか福祉センター 青少年育成地区委員会
		次世代育成委員 主任児童委員		地区懇談会
民生児童委員			保護司	社会を明るくする運動 地域育成団体

◎民生児童委員 主任児童委員

民生委員・児童委員は、厚生労働大臣から委嘱を受け、区民のみなさんの暮らしを支援するためのボランティアです。すべての民生委員は同時に児童委員でもあり、乳幼児から高齢者まで、生活全般にわたる相談相手として活動しています。

中野区には 305 人（定数）の民生委員・児童委員がおり、それぞれ担当地域を持っています。主任児童委員は、民生委員・児童委員の中から指名され、中野区では 28 人（定数）が活動しています。『あなたのそばの相談相手 民生委員・児童委員』より



◎青少年育成地区委員会

子ども達の健全育成を目的として、地域内の子どもに関する団体や住民が連帯協力して結成した連合組織（連合協議体）で、育成活動の核となる組織です。

正式には『中野区青少年育成〇〇地区委員会』といい、現在 14 の地区委員会が結成され、活動しています。

地域の町会・自治会・育成会・子ども会・子どもとともに進む会・PTA・ボーイスカウト・ガールスカウト・スポーツ団体等から推薦された委員を中心に、次世代育成委員など子ども達に関係している委員も加わり、地区委員会が構成されています。

地区委員会は、地域の参加育成団体の連絡調整・情報交換や、より良い環境作り、広報活動、研修活動などを行っています。また、ミニ・リーダー講習会、スポーツ大会などの事業も実施しています。

「青少年育成地区委員会 ABC（中野区子ども教育部）」より

弥生地区では

東京工芸大学での体験講習 バスハイク 乳幼児親子向け自転車安全教室
講演会（小児科の先生をお招きしてのアレルギーのお話しなど）

地域の安全マップの作成 環境標語



◎保護司 社会を明るくする運動

“社会を明るくする運動”～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～はすべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪のない地域社会を築こうとする全国的な運動で、2018年（平成30年）で68回目を迎えます。（法務省 HP より）

◎地域育成団体

☆やよいYY ネット （朝日が丘児童館、弥生児童館 H15年～活動）

子どもたちの健やかな成長を願い、弥生地域の子どもに関わるすべての機関、団体、個人がともに連携をとりながら、子どもと親のニーズに合った実践的な子育て支援を行うことを目的としています。

弥生地域の子どもと親が、ここでいっしょに育ったことを心から「よかった」と思えるために、わたしたちは子どもと親の声に耳を傾け、有機的な地域の結びつきを再構築する努力を継続して、新しい仕組みとネットワークづくりに取り組んでいこうと思っています。

『(仮称) 弥生地域の子どもたちを支援する会』設立趣旨 より

中野区放課後子ども教室推進事業

日曜開放 工作 クッキング スポーツ教室 親子体操など

乳幼児親子支援事業 (ママサポ)

ボランティアによる乳幼児一時預かり・乳幼児親子と地域ボランティアの交流

朝日が丘児童館、弥生児童館で年18回

弥生地域とその周辺にお住いの、生後6か月から4歳未満の健康なお子さん

午前10時～午後1時

一時預かり 1人500円



☆ママカフェ （朝日が丘児童館）

地域ボランティアによるカフェタイム

年10回

午前11時30分～13時 1人100円 （コーヒーor紅茶 お菓子付き）



☆劇団チョコミント (朝日が丘児童館)

児童館まつり、新1年生歓迎会、うさぎタイム(子育てなかま作り支援事業)等の児童館行事で、手作り人形の劇



☆子育てひろば

ぴよぴよひろば (東部区民活動センター H20年～)

月～金 11時～16時

午前・午後3人ずつ地域のスタッフで乳幼児親子さんを見守ります。

利用対象は、乳幼児(0歳～就学前)と保護者。利用方法は、年間登録(年会費500円、登録日～3月末)と一日利用(50円)があります。

H28年度の利用者数はおおよそ3300人

東部区民活動センターHPより

すくすくクラブ(南部すこやか福祉センター H30年～)

月～金 10時～17時 土11時～16時

☆世代間交流 “夢のかけ橋” (弥生児童館)

中野区放課後子ども教室推進事業

日曜開放 安全教室 青空教室 花と野菜づくり



◎課題

人材

どのグループも同じようなメンバーたちが関わっている。
働くママたちが増えているので、平日昼間の活動ができる人が少ない。
小中学校の統合で学校数が減るので、PTAの参加が少なくなっている。
人材が不足しているので、なかなか引退ができず高齢化している。

場所

児童館での活動が多いので、キッズプラザに移行した時の活動場所の確保がどのようになるか。

参加者

友人同士で誘い合うなど、情報を共有して様々な活動に参加しているが、もっと多くの方々に活動を知ってもらうためにはどのようにしたらよいか。
ボランティアに対しての、過度な期待、依存に対し、線引きのラインが難しい。

財源

様々な助成金など利用しているが、バザーを行ったり、寄付やボランティアの援助を受けている団体もある。